学校番号	402

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽２　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽という媒体を通して、さらに自分を広く表現し、より良き人間関係の樹立に役立てるようにすることを最大の目標として学習活動を行います。
そのために、歌唱(独唱)・器楽(リコーダー独奏)などの技術を高めてゆき、創作にも取り組みます。
その到達度は実技テストでの演奏発表や、授業中に配布するワークシートで評価しますが、日常の授業に臨む姿勢なども重視します。また、学校という場で行う学習活動ですから、自分の技術を磨くのみではなく、他者の演奏発表を聴く機会なども大切にします。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現への創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、音楽に関する音楽表現や鑑賞の学習にに主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート 作品発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	歌唱(独唱)・器楽(リコーダー独奏)	＜独唱＞ Ich liebe dich Nel cor piu non mi sento など ＜リコーダー独奏＞ アヴェ・マリア カヴァレリア・ルスティカーナ間奏曲 など 和楽器(箏)の奏法の研究も行う。	○	○	○	○	a:自己表現を重視した演奏をすることに主体的に取り組もうとしていること。 b:個性的な表現ために必要な工夫をしていること。 c:そのために必要な技術を身につけようとしていること。 d:その表現のための参考として、意欲的に鑑賞していること。	実技テスト ワークシート
後期	研究発表	各自が設定した分野・曲目により、演奏発表を行う。歌唱・器楽、単独・グループは問わない。	○	○	○		a:自己表現のための演奏発表のための適切な計画をしていること。 b:表現の研究を意欲的に行っていること。 c:そのための演奏技術身につけるため、意欲的に取り組んでいること。	実技テスト ワークシート
後期	創作	＜創作＞ 歌曲の創作。 完成した作品は自作自演で発表する。	○	○	○		a:自分の作品を制作する意欲を持ち、積極的に取り組んでいること b:自分の意思が作品に生きるように計画されていること。 c:創作のための種々の技術を身につけようとしていること。	作品発表 (作品提出と演奏発表) ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。